

サロン梅の湯第6回総会 記録 2016.6.11(土) (参加者:各サークルより20名)



開会に先立ち、先の地橋笑子さんの藍綬褒章受賞（2016年4月29日）に対し、運営委員会を代表して久呂副会長より祝福の花束が贈呈されました。地橋笑子さんからは感涙とともに「消して私一人の受賞ではなく、これまでの皆さんの協力があってこそのもので」とのお礼の言葉がありました。



はじめに会長から、「このサロン梅の湯がスタートした年にあの東日本大震災があり、奇しくも丸5年たった今年、熊本を中心とする大きな地震災害が起きた。高齢者を孤立させない、最後まで生きがいをもって楽しく暮らせるまちにしたいと願いここまでやってきたが、この節目の年を機に心新たに、皆さんとさらに発展させていきたい」とのあいさつがありました。

議事は、地橋保男会長のもと行われました。最初にこの一年間の各サークル、行事の写真をつづったスライドが上映されました。続いて松尾事務局長から2015年度の活動の特徴について報告がありました。（総会資料参照）



参加者の皆さんからの発言要旨は次の通りです。（敬称略）

- ・ 先日水橋中部小学校へ行ったら、ある生徒さんから「今度たずね隊、いつけ？」と声をかけられた。子供たちもここへ来るのを楽しみにしているようだ。（会長）



- ・ たずね隊は年4回、すっかり定着してきた。やはり子供から「今度いつ？」と聞かれる。今年度は児童館から梅の湯までの道中に対する保険が市から付くことになった。常連に加え、新しいメンバーを発掘して連れてくるのが今年の目標です。（児童館・井口）

- ・ 習字サークルの人たちはみなさんとても上手で、今は“字の起源”を考えながら書く活動をしている。こちらが勉強させてもらっている。日本の伝統文化を、書を通して伝えていきたい。（書道・高田）



- ・ 体操サークルの参加者はみんな元気で、よく声が出る。いろんな講師のそれぞれの指導が受けられて、ここに来る人は幸せだなあと思う。（体操・萩原）

- ・ 句集第3巻をお盆に出す予定。今年は新年会で発表する句を、習字の手書きで書いてみたい。また機会があれば、水橋の郷土史を学ぶ会、“水橋今昔・あれこれ”のような形で企画してみたい。



- ・ ある90代の方から「包括センターで、退職後の人生をどう過ごしていったらいいかを考えるという企画を考えてほしい」と言われた。高齢期を豊かに暮らすために大事なことは、①毎日予定を入れること、②仲間を作ること、③そこで自分の役割があること、つくることだと思ふ。市の総合事業が始まったら、それを先取りしているモデルとしてサロン梅の湯を取り上げたい。（北包括センター・稲田）



- ・ 高齢者が地域でどうやって暮らしていくかがこれからますます大切になってくるが、ここサロン梅の湯は自分たちで自分たちのために運営するという模範の活動をしている。会長の言葉にもあったが災害時の備えとしても非常に重要だ。これからも応援していきたい。(県社協・水井)



- ・ デイサービスでは針を持ってはいけないというルールがあると聞いたが、個々の皆さんはみなさん元気で、思う存分縫物を楽しんでおられる。私も張り合いがある。(手芸・村山)



- ・ 福祉のまちづくりということでの水橋福祉ネットですが、今回健康教室に”認知症寸劇”という形で参加させてもらい、ありがたいと思っています。しおんの家にも習字が得意な方がおられ、参加させてもらっています。(福祉ネット・山田)

- ・ 月1回の食サークルは、皆さんそれぞれの味付けがあり、楽しく交流させてもらっています。(石井)



- ・ 80を過ぎると人と交流することもなくなってきた、1日どうやって立てようかと困っている日々です。こんな家庭的な高齢者の行き場ができて、心豊かに過ごすことができます。(抹茶・湊)

- ・ 最近梅の湯について感じていることは、自分がつくづく、ここへよく足が向くようになってきたということだ。これからもよろしくお願いします。(歌声、囲碁、食・渡辺)



- ・ 昔の仲間が一人ずつ亡くなっていくさみしさの中で、みんなここへ来るようになって、人とのつながりが広がっているのではないだろうか。それぞれのサークルは和気あいあいだが、サークル同士の交流があまりないのではないか。年に2回ぐらいでもバスツアーを企画して、会員同士の交流を多くしたらどうか。(囲碁・山中)



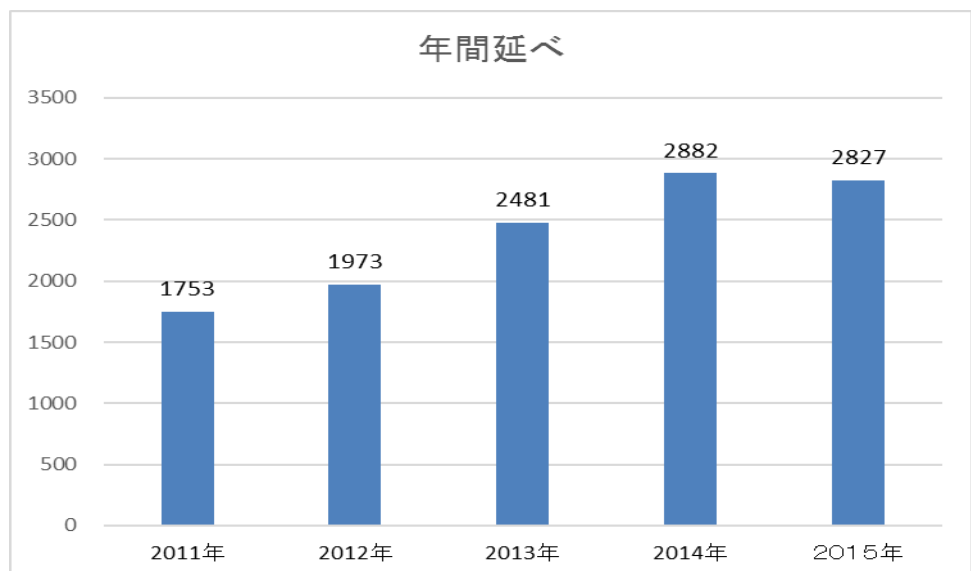
- ・ こんなに多くの方がいつも活発に活動されていて、本当にうれしく思う。体操サークルへ施設の職員が来させてもらい、本当に地域を感じるいい刺激を頂いている。今後、社会福祉法人の社会貢献活動がますます求められるようになる。法人としてもさらに強く支援していきたい。(池田専務)

- ・ ここに来られる人たちがこんなに増えて、とても喜んでます。手芸と食サークルに参加しています。これからもよろしくお願いします。(大家・佐々木)



① 2015 年度活動報告 運営委員会でのふりかえり

- (ア) (サークル活性化) 継続に力を入れ、サークル員、運営委員を増やすことができた。
- (イ) 健康体操は、メンバーが定着した(毎回 10 人以上。お風呂の中でなどやる体操)。講師は家でできるものを多く取り入れ、メニューの充実ができた。
- (ウ) しらいわ苑デイ、ショートや東部公民館の体操の会などへ出前講師としても活動。
- (エ) 習字はしおんの家からも利用者さんが参加されている。
- (オ) 高田先生の書道教室が、新しく土曜日の夕方スタート。
- (カ) ラッピングは、会員増をと方策を考えておられる。
- (キ) 食サークルは、みんなでメニューを考えみんなで作って食べる。生きがいは参加しないと作れないという気持ちで集まってこられる。
- (ク) 手芸サークルは、講師が勇退され、自分たちでやらなければという自覚、自主性が出てきた。(新しい講師を迎える)
- (ケ) 法話会には、かけはしややすらぎ、せいふうなどから参加者がある。
- (コ) 認知症については、健康教室で認知症の寸劇を見て、「本だけではよくわからなかったが、直接目で見て耳で聞いて、かかわり方がよく分かった。(福祉ネットとの連携)
- (サ) 虹の会の財政的な負担軽減を図る。(自分たちの楽しむための場所なのだから自分たちでやれるようになるとういう意気込みを共有した)
- (シ) (協力者の拡大) 行事ごとに事前の打ち合わせ会を持つなど、お客さんにならないように段取りをとった。介護予防推進リーダーさんたちに声をかければいい。
- (ス) (地域行事への協力) 橋祭りのメッセージ花火を出そう。(1 万円)
 文言・・・元気な高齢者、サロン梅の湯へどうぞお越してください。
- (セ) 中新町の男性が毎回 3 人ほど女性を乗せて来所される。
- (ソ) (男性利用者増の課題) 男性を引っ張り出すのは依然大きな課題。
- (タ) 飛び込み利用者の拡大…これまでも月に 1～2 人、前を通ったら人のざわめきを感じて見ていかれた人あり。認知症の人が立ち寄り、包括へつなげたことがあった。
- (チ) 西部にも回覧、掲示板を頼んでみたらどうか。
- (ツ) 今後、富山市の総合事業についての情報収集と検討を行う。



② 15 年度決算報告会計監査報告

③ 2016 年度予算案

	2015決算	2016予算案
収入 繰越金	¥ 52,792	¥ 266,183
運営協力募金	¥ 773,518	¥ 560,000 (2800×200円)
助成金	¥ 168,000	¥ 405,000 (介護予防サークル、共同募金、生命保険協会)
利息	¥ 82	
計	¥ 994,392	¥ 1,231,183
支出 会費	¥ 13,500	¥ 15,000 町内会費等
慶弔費	¥ -	¥ 10,000
虹の会へ寄付	¥ 500,000	¥ 750,000 (家賃・水光熱費、保守料、印刷代)
雑費	¥ 26,878	¥ 5,000 消耗品代
事業費(講師料、備品購入費)	¥ 139,431	¥ 330,000 (ワイヤレスマイク276,000円、講師料、材料費)
保険料	¥ 5,400	¥ 6,000 市社協ボランティア保険(120円×人数分)
旅費・交通費	¥ 43,000	¥ 43,000 (利用者送迎ガソリン代)
予備費(次期繰り越し)	¥ 266,183	¥ 72,183
計	¥ 994,392	¥ 1,231,183

2015収入内訳

共同募金会助成金	¥ 120,000
介護予防サークル助成金	¥ 48,000
運営協力募金(以下含む)	¥ 773,518 (利用者¥676,527)
虹の会納涼祭売り上げ	¥ 17,350
食サークル	¥ 7,830
コピー代	¥ 2,566
新年会	¥ 3,245
寸志 水橋保護司会	¥ 5,000
田中(朝日町)	¥ 3,000
渡辺	¥ 20,000
村上(みゆき会)	¥ 10,000
松尾	¥ 20,000
相川	¥ 3,000
もやい座	¥ 5,000

支出内容

会費	槻家駐車場お礼 秋祭り初穂料 田町駐車場町内会費
雑費	お菓子代、ウェットシート、トイレトーパー 新年会用パック、小袋、稲坂花代
保険料	市社協ボランティア保険(120円×45人分)
事業費	花まつり甘茶代、たずね隊食材 障子張り替え講座材料費 体操教本コピー代 切手代、ラッピング講師交通費

2016 年度方針案

1. サークル活動活性化 (新サークル、既存のサークル)
2. 助成金の獲得
3. 健康教室、新年会など恒例行事の充実
4. 自治振興会、民生委員会など他団体との連携強化
5. ボランティア発掘、確保(常駐者、運転手)

④ 新年度運営委員

地橋 保男	運営協議会会長	萩原 洋子	運営委員
砺波 武	運営協議会副会長	石井いね子	運営委員
久呂 忠行	運営協議会副会長	魚川 末美	運営委員
尾島 富嶽	運営協議会監事	◎高橋和子	運営委員
地橋 笑子	運営委員(ボランティア管理人)	松尾 守	事務局(とやま虹の会)